



奈川の人口
令和7年11月1日現在
総世帯数 288世帯
総人口 541人
男女 266人
275人

発行 奈川公民館
発行者 奥原 広幸
編集者 公民館報編集委員会
印刷 (株)プラット

第66回 奈川地区文化祭



JAあづみ物販コーナー



力作ぞろいの文化展



文化祭・芸能祭

女性コーラス「ハミングおきな草」



吹奏楽部と先輩たちの共演

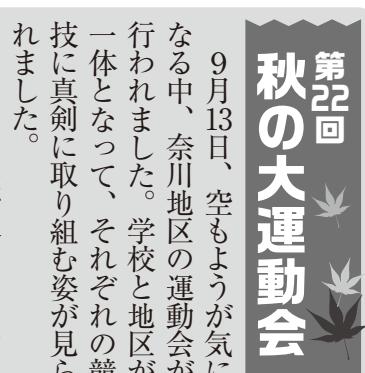
11月1日・2日に奈川地区

文化祭が開催されました。

文化祭には、学校や地域の皆さん、体験農園利用者の皆さんなどの作品が多数展示され、農産物展には、丹精込めで栽培された立派な野菜などが並び、来場者の関心を集めていました。

2日目には、食料品、農林業用品、衣料品などの店舗の出張販売や地元の皆さんの軽食販売がありました。テレビ番組で放映されたパンを求めて地区外から訪れる人も多く、会場は大勢の皆さんで賑わっていました。

芸能祭では、市内在住の演歌歌手・峰ちはるさんの明るく楽しい歌謡ショーに元気をもらい、また地元の女性コラスグループの合唱や中学校吹奏楽部と先輩たちの演奏に心癒されるひとときとなりました。



9月13日、空もようが気になる中、奈川地区の運動会が行われました。学校と地区が一体となって、それぞれの競技に真剣に取り組む姿が見られました。

児童、生徒が全力で走り、地区の人たちも校庭が小さく感じられるくらいの勢いで盛り上がっていました。

途中、雨の影響でプログラムを一部変更しましたが、短時間で集中できた運動会となりました。



10/8 地域を守る砂防防災セミナー

このセミナーは、奈川安曇の両公民館共催で毎年開催しているものです。今年は、令和元年東日本台風による千曲川の氾濫で被災した長野市長沼地区周辺を、国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所に案内いただき、復旧状況や治水対策について視察しました。

現在進行中の堤防強化、遊水地整備等の早期完了は勿論のこと、上流域を含めた流域全体での対策の重要性を再認識する機会となりました。



福祉ひろば

変面ショー
9/17

バイオリンコンサート
9/25

に松本奈川ロゲイニング2025が開催されました。ロゲイニングとは、地図を片手に制限時間内に多くのチェックポイントを廻り、得点を競うスポーツです。この日は、晴天に恵まれ、県内外から70人の参加者が集まり、奈川地区内の寺社や観光スポットを廻りました。参加者からは、「奈川の自然を満喫できた。」「また奈川での開催をお願いしたい。」などの意見がありました。実行委員会では、来年も開催の予定です。



奈川ロゲイニング2025

「実と林業」に伺いました!

実と林業（みとりんぎょう）は、新潟から奈川の保平町会へ移住し林業を始めた小川さんが、平成31年4月25日に設立した会社です。林業は、50～100年という長い年月をかけて育成したカラマツなどを活用し、森林を健全に保つ仕事です。これから林業への想いを小川夫妻にお話しいただきました。

■「実と林業」を立ち上げた経緯は?

新潟でも山に関わる仕事として林業に携わっていました。長野県の森林組合の中で奈川支所というところがあるという話から18年前、下の子がまだ0歳児のとき家族で奈川の保平に移りました。松本で林業の仕事をしていく中で、奈川が林業のとても盛んな土地であったと知り、ここに根付いて林業がしたいとの思いで会社を立ち上げました。会社名の由来は、奈川でお世話になっている奥原実雄さんの一文字を頂きました。

■今後の挑戦は?

林業の奥深さに楽しさとやりがいを感じながら山に入り、先人が残した森の資源をできるだけ無駄にせず、持続可能な森林整備を目指し、さらには地元に還元できるよう頑張っていきます。



〔株式会社 実と林業〕

場所: 松本市奈川358-1

E-mail: mitoringyo@outlook.jp

電話: 0263-79-2711

FAX: 0263-79-2778

9月27日 となる「夢の森カフェ」がオープンしました。今回は「うす焼きカフェ豆まめ」と「製材所のパン屋」が出店し、来場者は美味しいコーヒーを味わいながら楽しいひとときを過ごしました。

また、衣料品や食料品の出張販売は、買物支援の役割も果たしていました。

夢の森カフェ



10月11日、奈川小学校の「大元川祭」が開催されました。小中学生のステージ発表や音楽会言」で幕を下ろしました。

第43回 大元川祭

～学校巡回公演～文化センター夢の森にて開催

名古屋フィルハーモニー交響楽団

10/21



クラシックって
どえりやあ
面白いがや!



野麦路



我が家の三歳の息子。祖母たちと賑やかに暮らしているせいか、言葉を覚えるのが早く、おしゃべりがとまらない。働く車や恐竜の名前も次々マスターしている。保育園の未満児クラスに通い、先生とのやりとりはスマートのアブリ。毎日届く先生からのその日の活動の様子や子どもたちの様子について読むのが密かな毎日の楽しみだ。

ある日の連絡帳に、こんな一文。「お友達が言い合いをしていましたところ、『人のことはいろいろ言わないんだよ』と仲裁していました」とのこと。三歳にしてまさかの上からアドバイスをしている。夫婦で笑った。本人に聞くと「先生もそしだねって言つてたよ」と胸を張る。どうやら家で聞いている大人の口調をしっかりと真似しているらしい。次はどんな言葉が飛び出すか油断ならない。「三歳息



子語録

(編集委員)